

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム里山

作成日 ： 平成26年12月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	23	利用者の思いや意向の把握がまだ不 充分な利用者もいる。	利用者の思いを知り、その人らしい 生活が出来る。	①ケアプランを適時見直し、モニタリ ングやアセスメントをスタッフ全員で行 う。 ②日常生活の中での会話や表情等か ら、その人の思いを読み取り、感じ 取った気付きや反応を記録に残し、そ の利用者の全体像をスタッフ全員が 共有し、ケアに繋げる。	12 か月	
2					か月	
3	36	スタッフの中には利用者への言葉かけ や、プライバシーへの配慮に欠けてい る者もいる。	すべてのスタッフが同じように利用 者への声掛けや、プライバシーを配 慮したケアが出来る。	①その時々に応じた声掛けや、声の 大きさ・トーン・言葉遣いに配慮する。 ②出来ていない時や、気付いた時に はスタッフ同士で注意し合う。	12 か月	
4	33	看取りに対するマニュアルを作成し、 研修や勉強会にも参加し、主治医や訪 問看護師と共に、チームで看取ったも の、新人スタッフもあり、看取りへの 不安を持つ者もいる。	スタッフ1人1人の看取りへの不安な 思いを知り、不安が軽減出来るよ う、看取りに対する知識や技術を向 上していく。	①看取りの研修に参加していないス タッフには研修に行ってもらい、里山 での勉強会も多く機会を持つようにす る。 ②利用者やご家族と話し合い、思い や希望をお聞きし、ご家族と共に利用 者の最期が悔いの無いように関わっ ていく。	12 か月	
5					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

[サービス評価の実施と活かし方についての振り返り]		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	☐ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐ ②利用者へサービス評価について説明した
		☐ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐ ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		☐ ⑤その他 ()
2	自己評価の実施	☐ ①自己評価を職員全員が実施した
		☐ ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐ ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		☐ ⑤その他 ()
3	外部評価（訪問調査当日）	☐ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐ ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		☐ ④その他 ()
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	☐ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		☐ ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		☐ ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ⑤その他 ()
5	サービス評価の活用	☐ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した（する）
		☐ ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した（する）
		☐ ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ（取り組む）
		☐ ⑤その他 ()